Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和元年7月30日 国土政策局 離島振興課、特別地域振興官

離島とマッチングしたい企業を募集開始!

―離島と企業の交流の場「しまっちんぐ2019」を開催します―

国土交通省は、離島と企業をつなぐ交流の場「しまっちんぐ 2019」を 10 月 9 日(水) に開催します。10の離島地域が参加を予定しています。

島の魅力を活かした事業に関心のある企業や島の活性化に貢献したい企業の皆様の 参加をお待ちしております。(参加費無料、9月13日(金)正午〆切)

国土交通省では、離島地域の振興を図るため、島の魅力発信や活性化に取り組む意 欲のある離島地域と島の活性化に貢献したい企業等の交流の場として、平成27年度 より「しまっちんぐ」を開催しています。(別紙 1)(概要)を参照)

1. 「しまっちんぐ2019」概要

開催日:10月9日(水)13:00~17:30(予定)

場 所:中央合同庁舎3号館

国土交通省 10 階共用会議室 A

(〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-2)

内 容:参加離島地域・企業のプレゼンテーション、

交流会など

2. 募集概要

参加資格: 別紙 2 (募集要領) を参照

参加費:無料

応募締切: 9月13日(金)12:00

応募方法:「しまっちんぐ2019」ホームページ

(http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chirit/shimatching2019.html)

内の企業エントリー受付ページにて受け付けます。

3. 参加離島地域(予定)

大島(宮城県気仙沼市)

おきしま 沖島(滋賀県近江八幡市)

笠岡諸島(岡山県笠岡市)

ひらしま 平島(長崎県西海市) 種子島(鹿児島県西之表市) 飛島(山形県酒田市)

西ノ島(島根県西ノ島町)

大崎上島 (広島県大崎上島町)

姫島(大分県姫島村)

喜界島(鹿児島県喜界町)

【問い合わせ先】

国土交通省 国土政策局 離島振興課 中西、島﨑 特別地域振興官付 田中、宇田 TEL 03-5253-8111 (内線: 29-636、29-614)、03-5253-8421 (直通)

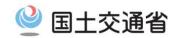
FAX 03-5253-1594





過去の「しまっちんぐ」の様子

離島と企業をつなぐ『しまっちんぐ』の概要



- 地域課題を解決する1つの手段として、離島と企業をつなぐ「マッチング」の場を提供する『しまっちんぐ』を開催。
- 対話重視のマッチングにより、離島活性化のための事業につなげる。
- これまでに計4回開催し、のべ34の離島地域と159の企業・団体が参加。

離島地域

- ・島を活性化したい
- ・島の魅力をもっと活かしたい
- ・外の企業と交流する機会が少ない

民間企業(島外)

- ・島と事業を立ち上げたいが、島のことが良くわからない
- ・島に貢献したいがつながり方がわからない

しまっちんぐ

~離島と企業をつなぐプラットフォーム~

・島でのワークショップの開催

島の住民、事業者、行政関係者等が集まり、コーディネーターを中心として島の課題を明確にするとともに、島の未来のビジョンとそれに向けた取り組み内容(プロジェクト)について話し合う。

・交流会の開催(東京都内)

島の関係者と本土の企業関係者により交流会を開催。 各島のプロジェクトに沿って、島の課題解決や活性化に 一緒に取り組んでいく企業とのマッチングを図る





ワークショップの様子



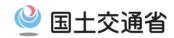


しまっちんぐ2018

離島と企業による プロジェクトの実施

離島の活性化

【参考】離島と企業のマッチング 成果事例①



事例1:沖島×コープ滋賀 アイスクリームづくり(人口;287人)滋賀県近江八幡市

【沖島こどもチャレンジ特産品開発事業】

- 〇「しまっちんぐ2016」をきっかけに、近江八幡市と特産品開発の専門家がつながりを持ち、「沖島」で特産品開発がスタート。
- 事業者、地元協議会、行政のサポートの下、沖島小学校の子どもたちの企画による「沖島のやさしいアイス」が商品化。
- 子どもたちによる販売会(2017年2月)では約600個が完売。
- 現在も県内で販売されており、売り上げの一部は沖島小学校の児童のために使われている。

マッチングの概要



【離島側の課題】

- ・高齢化、若者の島外流出
- ・島内の経済活性化
- ・沖島の認知度が低く、 定住につながらない

X

【企業側の提案】

・島の小学生のキャリア 教育を兼ねた特産品開発



【離島と企業のチームづくり】

(離島側)

(企業側)

- ・沖島小学校
- ・コープおきなわ (全体エデネチト)
- ・沖島町離島振興推進協議会・池田牧場 (製造者)
- ・近江八幡市
- ・ コープ しが (販売者)

プロジェクトの内容

O 沖島小学校の子どもたちの企画による島のアイスクリームづくり

- ・沖島小学校(児童数15人)の子どもたちが、全4回の授業と現場実習を通じて、アイスクリームの企画開発から販売体験までを実施。
- ・事業者らのサポートの下、学校で育てた島のサツマイモを使用した「沖島のやさしいアイス」を商品化。
- ・パッケージには、沖島をイメージした魚や鳥のイラストが描かれ、2017年に実施された販売会では、目標の200個を大きく超える600個が完売した。
- ・現在、本格的に生産を行い、売り上げの一部は、沖島小学校の児童のために使われている。













①企画書づくり

②商談会

③試作品を試食

④パッケージデザイン

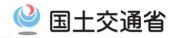
⑤完成品お披露目

⑥販売体験

事業の成果・期待される効果

子どもたちの島への誇りや愛着の醸成、島内産物の販路拡大とPR、沖島に対する認知度の向上

【参考】離島と企業のマッチング 成果事例②



事例2: 利尻島×KDDI しまものラボ(人口; 5,090人) 北海道利尻町

【しまものラボ】

- 〇「しまっちんぐ2016(秋)」をきっかけに、利尻町、KDDI株式会社、利尻町商工会、NPO法人離島経済新聞社が結びつき、「しまも のラボ」がスタート。
- ○「しまものラボ」は、離島の地域活性化を目指す「しまものプロジェクト」の一環として、販路拡大や商品PRに課題を抱える離島の 事業者を対象に、オンライン講座で販売の基礎を学ぶ取り組み。

【企業側の提案】

○ 最終的には、利尻島の産品をKDDIサイト「auウォレットマーケット」で販売し、販路拡大につなげる予定。

マッチングの概要



【離鳥側の課題】

- 人口減少
- 島内の産業活性化
- ・移住や定住の促進

X

・全国販売に向けた食品衛 生や安全面などに関する 講座による販路拡大



【離島と企業のチームづくり】 (企業側)

(離島側)

- ・利尻町 ・KDDI株式会社
- ·利尻町商丁会 · NPO法人離島経済新聞社
- ・町内事業者

プロジェクトの内容

- 流通販売・商品企画分野の専門講師による講義の実施
 - ・商品が持つ「売り」や「課題」を発見し、商品の魅力を伝える手法や動画 制作方法などを学ぶ。
 - ・全5回の講座を通じ、自分の商品の「課題」と「売り」を探す(3回)、商 品の「売り」を言語化する(2回)、動画制作体験講座(オプション)を学ぶ。



講座開催の様子

出典 | http://www.itmedia.co.jp/ news/articles/1705/26/news104 2.html

O au WALLET Market 内での販売

ECサイトである「au WALLET Market」内の「しま ものマルシェーにおいて、利尻島の産品を販売。

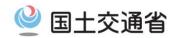


利尻お味噌汁セット (カット昆布、乾燥銀杏藻、おぼろ昆布)

事業の成果・期待される効果

離島産品の付加価値向上・販路拡大、専門スキルを持つ人材の育成

【参考】離島と企業のマッチング 成果事例③



事例3: 壱岐島×LIG どこでもオフィス、ゲストハウス(人口; 26,750人)長崎県壱岐島

【どこでもオフィス・ゲストハウス運営】

- 〇壱岐を好きになってくれる企業、そして共に知恵を出し合って、協働で島をわくわくさせたい企業を募集していた壱岐市とマッチング(「しまっちんぐ2016秋」)した㈱LIGは2017年1月にリモートワークを島内で試行する「どこでもオフィス」を実施。
- 〇これをきっかけに㈱LIGが旧旅館および隣接する酒造蔵をリノベーションし、ゲストハウスとレストランを運営。(スタッフ5名移住)
- ○今後サテライトオフィスの展開も検討している。

マッチングの概要



【離島側の課題】

- ・「街の活性化」
- 「お金のいらない暮らし」 の推進

【企業側の提案】

X

- ・ゲストハウス事業
- ・サテライトオフィス運営



【離島と企業のチームづくり】

(離島側) (企業側)

・壱岐市

・(株)LIG

プロジェクトの内容

- ・壱岐島の様々な場所でリモートワークを試行しながら、壱岐島の魅力をブログにて発信。
- ・使われていなかった旅館および酒蔵をリノベーションし、ゲストハウス・レストランを開業。











旅館等のリノベーション

出典 | https://liginc.co.jp/

事業の成果・期待される効果

- ・宿泊施設が少ない地域でのゲストハウス・レストラン開業による、観光客の増加・地域の賑わいの創出。
- ・サテライトオフィスの試行事例という形での企業誘致および雇用創出。

「しまっちんぐ2019」参加民間企業等 募集要領

「しまっちんぐ2019」への参加を希望する民間企業等を以下の要領で募集します。

1. 趣旨

国土交通省では、離島と企業をつなぐ「マッチング」の場を提供し、離島の活性化につなげる「しまっちんぐ」の取組を進めています。今年度は、令和元年 10 月 9 日 (水) に離島と企業のマッチング交流会「しまっちんぐ 2019」を開催します。そこで、「しまっちんぐ 2019」への参加を希望する民間企業等を募集します。

2. 日時・場所・内容

日 時: 令和元年10月9日(水) 13:00~17:30(予定)

場 所:中央合同庁舎3号館 国土交通省10階共用会議室A

(〒100-8918東京都千代田区霞が関2-1-2)

内 容:参加離島地域のプレゼンテーション、企業のプレゼンテーション、交流会 など

3. 参加資格

- (1) 日本国内に事務所を持ち、国内で活動を行っている企業・団体。(組織・法人形態は問わない。)
- (2) 以下のいずれにも該当しない企業・団体であること
 - ① 法人等が、暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2項に規定する暴力団をいう。以下同じ。)であるとき又は法人等の役員等(個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所(常時契約を締結する事務所をいう。)の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。)が、暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)であるとき。
 - ② 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。
 - ③ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。
 - ④ 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を 有しているとき。

4. 応募方法

「しまっちんぐ2019」ホームページ

(http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chirit/shimatching2019.html)

内の企業エントリー受付ページからダウンロードできる応募様式に必要事項を記載し、以下のメールアドレス宛てに送付してください。

しまっちんぐ事務局 (hqt-shimatching@gxb.mlit.go.jp)

- 5. 応募締切:令和元年9月13日(金)12:00
- 6. 参加費:無料

(お問合せ)※下線は主担当者

国土交通省 国土政策局 離島振興課 (担当:中西、<u>島崎</u>)

特別地域振興官付 (担当:田中、宇田)

TEL: 03-5253-8421